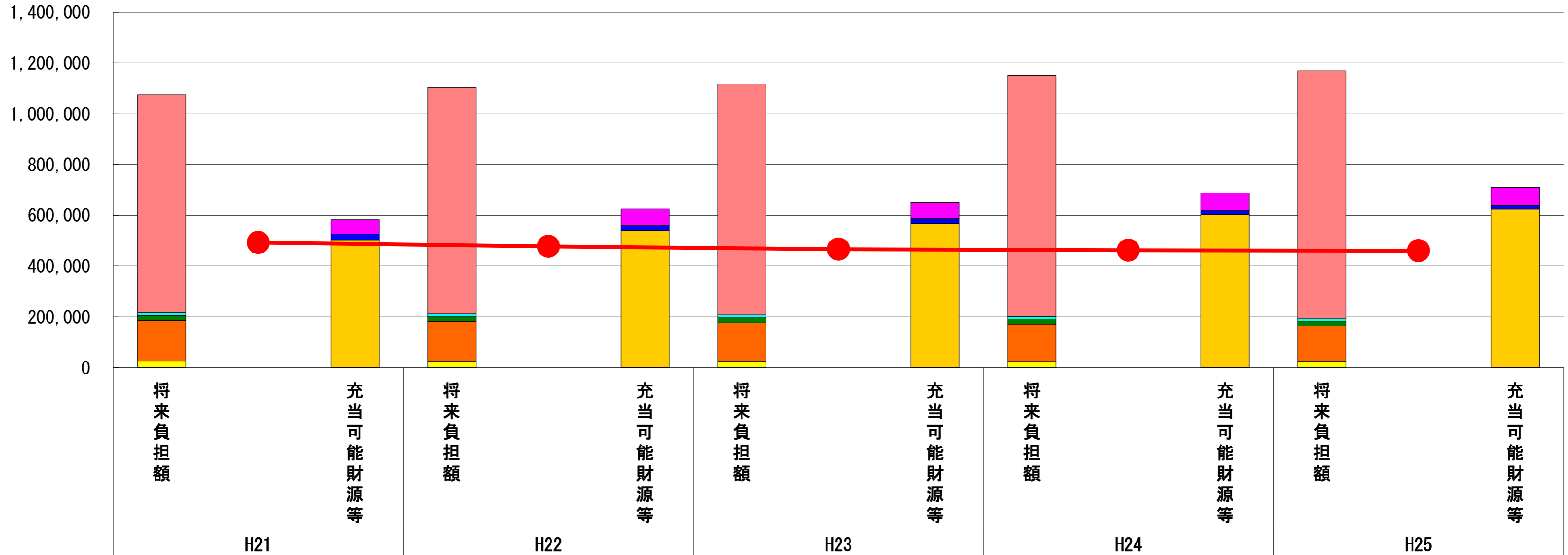


(8) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

平成25年度

和歌山県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H21	H22	H23	H24	H25
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		857,328	890,524	910,361	949,365	977,993
	債務負担行為に基づく支出予定額		13,261	11,862	10,884	9,822	8,830
	公営企業債等繰入見込額		19,467	19,031	19,906	19,333	18,693
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		158,462	156,545	151,333	146,278	139,466
	設立法人等の負債額等負担見込額		27,532	26,582	25,818	26,382	26,007
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		56,473	65,236	64,311	68,427	70,901
	充当可能特定歳入		23,374	21,565	18,543	15,686	14,269
	基準財政需要額算入見込額		503,287	539,404	568,575	603,719	624,617
(A) - (B)	将来負担比率の分子		492,917	478,339	466,873	463,348	461,201

分析欄

「新行財政改革推進プラン」に基づき職員の定数削減に取り組んだことで退職手当負担見込額が68億円減少したものの、一般会計等に係る地方債の現在高は臨時財政対策債等の発行増に伴い286億円増加したこと等により、将来負担額は前年度に比べ198億円の増加となった。

一方、控除すべき基準財政需要額算入見込額が209億円増えたこと等により、将来負担比率の分子は前年度に比べて21億円減少した。

今後は、退職手当債や行政改革推進債等の発行により、将来負担は増加していくおそれもあるため、事業の効率化・重点化により県債発行を抑制するなど行財政改革の推進により健全化を図っていく。